【No.21】 Bmab + FOLFIRI療法

病名＿＿＿＿＿＿　ID＿＿＿＿－　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿（　才）（男・女）※化学療法承諾書要作成

身長＿＿＿cm　体重＿＿＿kg　体表面積＿＿＿㎡　PS 0・1・2・3・4

＿＿＿＿＿科　主治医＿＿＿＿＿　治療ライン　次治療　服薬指導　依頼する・不要

HBs抗原(+)→HBV DNA(　),HBs抗原(-)→HBc抗体(　)HBs抗体(　)　確認医(科長)＿＿＿

【警告】大手術後28日間経過していない患者に投与した経験はない。術創の状態を確認し、投与の可否を検討すること。(アバスチン添付文書より抜粋)

中止・延期基準

(アバスチン適正使用ガイドより抜粋)

・Grade3以上の高血圧　・Grade2以上の尿蛋白

(イリノテカン添付文書より抜粋)

・白血球数3000/mm³未満　・血小板数10万/mm³未満

UGT1A1ホモもしくはダブルヘテロの場合

→少なくとも1段階の減量推奨(米国添付文書より)

※化学療法実施当日の2号紙に、実施の可否について記載すること。(記載確認後ミキシング開始となります。)

※ポンプルートで使用する生食の量は別紙「5-FU持続静注のための早見表」参照

コース	体重	day1	(day3)	指示	受領

同時開始

指示内容	点滴時間	計算式 催吐リスク	実施日	day1	2	day3	4	5	6	…	14
① ○ポート患者 生食20mlシリンジ(穿刺)生食250mlでルート確保			指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								
② 生食100ml + { グラニセトロン1A or パロノセトロン1V } + デキサート＿＿＿mg + ポララミン＿＿A + { ファモチジン1A or ホスアプレピタント1V }	30分		指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								
③ ②でホスアプレピタントを使用する場合、①残液でフラッシュ	全開		指示	(●)							
			受領								
			入力								
			実施								
④ 生食100ml + ベバシズマブ＿＿＿mg ※終了後①の残液でフラッシュ (初回90分、2回目60分、3回目以降30分) 変更1:＿＿＿mg(変更日:＿＿＿)	30-90分	5mg/kg 最小 10%未満	指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								
⑤A(⑤Bと同時に投与開始) 5%Glu250ml + イリノテカン＿＿＿mg 変更1:＿＿＿mg(変更日:＿＿＿) 変更2:＿＿＿mg(変更日:＿＿＿)	90分	150mg/㎡ 中等度 30～90%	指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								
⑥ 生食50ml + フルオロウラシル＿＿＿mg ※終了後、①の残液でフラッシュ 変更1:＿＿＿mg(変更日:＿＿＿) 変更2:＿＿＿mg(変更日:＿＿＿)	全開	400mg/㎡ 軽度 10～30%	指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								
○ポンプルート(シュアーフューザーポンプ) ⑦ 生食＿＿＿ml + フルオロウラシル＿＿＿mg + ヘパリンNa 5ml 変更1:生食＿＿＿ml+＿＿＿mg(変更日:＿＿＿)	46時間	2400mg/㎡ 軽度 10～30%	指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								
○輸液ルート ⑦' 生食500ml + フルオロウラシル＿＿＿mg 変更1:＿＿＿mg(変更日:＿＿＿) 変更2:＿＿＿mg(変更日:＿＿＿)	44-46時間	2400mg/㎡ 軽度 10～30%	指示	(●)							
			受領								
			入力								
			実施								
⑤B(⑤Aと同時に投与開始) 5%Glu250ml + レボホリナート＿＿＿mg 変更1:＿＿＿mg(変更日:＿＿＿) 変更2:＿＿＿mg(変更日:＿＿＿)	120分 側管	200mg/㎡	指示	●							
			受領								
			入力								
			実施								
(輸液ルートの場合入力、ポンプルートの場合入力不要) ⑧ 生食50ml ⑨ ヘパリンシリンジロック or 生食シリンジ20ml	全開		指示			(●)					
			受領								
			入力								
			実施								

2週毎(1投1休)

太枠内は原本に記入せず、カラーコピーして使用すること。

在庫確保のため、投与2日前(休日を挟む場合は休前日)までに薬剤科へコピーを提出すること。　改定日R3.6.29